

詞

作詞 : fuzzimari

作曲 : fuzzimari

過ぎていく景色を見ながら窓を開けて

夜の風を車に入れてみると

私の長い髪が（サラサラと）吹き流されているの

繰り返す別れのシーンが切なくさせる

あなたのセリフが耳に残ってるの

あなたのサプライズな さよならの言葉

夜の海浴い

夜のドライブ

想いでかき集め

あなたはいつも突然私を呼んで

自己中的に話しを進めるのね

私の話も聞かず（一人だけ）勝手にリセット

今夜もそうねあなたのいつものペース

悪びれる様子もなく短い言葉

なぜなの？聞き返しても 何にも言わず

悔しいじゃない

愛してたこと

涙が出て落ちる 落ちる 落ちる

夜のドライブ

つぶやき...

ちょっと悲しい歌ですね。

「I know it」も別れの歌だったけど・・・特に意味はありません。
意識したわけでもありません。

たまたま続けて発表しただけなんですよ。
「振られたんだらう？」とか詮索しないでね！

詞をみると、演歌っぽいんだけど・・・う～ん演歌っぽいねー
演歌っぽくするつもりじゃーなかったんだけど、演歌っぽくなっちゃっ
たって感じです。

もっと演歌っぽくアレンジしても良かったんだけど、逆に言うと、
それでは面白くないじゃない！？って考えて、エレクトロっぽくしました。

「I know it」と今回の「夜のドライブ」は悲しげな歌だったので、次はどう
しよう・・・明るっぽいのにしようかな？？